

## 第63回通常総会 会長挨拶

令和6年5月31日

城山ホテル鹿児島

本日は令和6年度通常総会のご案内をいたしましたところ、皆様には何かとお忙しい中ご出席をいただき心より感謝申し上げます。

鹿児島県からは知事代理として土木部次長の木佐貫浄治様、土木部監理課長の石崎美和様、厚生労働省 鹿児島労働局からは局長の永野和則様に、ご出席をいただいております。

ご来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席を賜りまして厚く御礼申し上げます。

先ほどの表彰式におきまして、昨年度の叙勲・褒章及び国土交通大臣表彰受賞者の「顕彰」と、本年度の「全国建設業協会表彰」の伝達、並びに「県建設業協会」の表彰を行いました。

受賞された皆様は、いずれも永年にわたり、本県の建設業の発展に尽力され、多大な貢献をされた方々でございます。

心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝と、今回の受賞を契機に、後継者の育成をはじめ本県建設業界の発展のために、一層のご精励あらんことを、ご祈念申し上げます。

申しあげるまでもなく、我々建設業の使命は、社会資本の建設や維持管理を通じて地域社会の発展を支えるとともに、災害時における活動等により、地域の安全・安心を確保することにあります。

減災、防災、国土強靱化への対応が強く求められる今日、建設業の果たすべき役割が重要性を増す一方、生産年齢人口が減少するなかで、担い手の確保・育成・定着や、働き方改革への対応が喫緊の課題となっております。

去る3月8日に内閣総理大臣と関係閣僚出席のもと開催された「建設業団体との賃上げ等に関する意見交換会」において、国土交通省と建設業団体との間で、技能者の賃上げについて「5%を十分に上回る上昇」を目標にすること、働き方改革について労働時間規制の導入を踏まえて、「必要な対応に万全を期す」ことを申し合わせました。

このほかに、九州・沖縄ブロック土木部長等会議では、週休2日工事の「質の向上」やインフラ・デジタルトランスフォーメーションの普及・拡大、工事関係書類の様式の統一化、建設業の魅力発信の取組拡大について共通目標を定め、一丸となって建設業の将来の担い手確保に向けた働き方改革を推進するとされております。

我々、建設業としても、こうした時代の潮流を見極めながら、持続可能な業界の確立に向けて、積極的に取り組んでいく必要があるのではないかと思います。

同時に、これらを実現するためには、安定的・持続的な公共事業予算の確保が不可欠であることは申し上げるまでもありません。

県においては、令和5年度の補正予算と、令和6年度の当初予算、合わせて1,419億円の公共・県単公共事業予算を確保していただき、本格的な発注が始まっておりますが、業界としては今後の予算確保の面からも、不調・不落の防止などに全力で取り組んでいく必要があると考えております。

また、設計労務単価の引き上げ、諸基準の改正など、入札・契約制度についても着実に改善が進められております。

塩田知事をはじめ関係部局の皆様には、衷心より感謝申しあげ引き続きのご支援をお願いする次第です。

私どもといたしましても、技術と経営に優れた会員企業が、地域で信頼され、円滑な事業継続ができるよう、今後とも、受注機会の確保をはじめ、入札・契約制度の改善に向けた要望活動や労働災害の根絶など、積極的な協会活動に取り組んでまいります。

本日は、総会スローガンとして「建設業の働き方改革と担い手の確保・育成・定着」、「県土の強靱化と災害支援の強化」、「社会的責任の実践と公正な事業活動の推進」、「労災死亡事故の絶滅と交通事故防止の徹底」という四つの柱を掲げております。

今回、提案しております各議案の審議が円滑に進みますよう、会員の皆様方のご協力をお願いいたしますとともに、ご臨席の皆様の、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

本日は、どうぞよろしくをお願いいたします。